

---

# Energetic song

朱梨

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

E n e r g e t i c   s o n g

### 【Nコード】

N 1 9 6 4 D

### 【作者名】

朱梨

### 【あらすじ】

ずっと真人だけを思ってきた雛。怖くて自分の想いに気付こうとしない稚歌。幼い頃のトラウマから恋を知らない、女に興味のない尋。高校生活をそれなりに過ごしてきた三人の前に雛の想い人、真人が帰ってきた。四人のそれぞれの想い、絡まる気持ち。「ずっと好きだったんだよ。」「俺はお前の気持ちに答えられない。」「アイツのことなんか好きじゃないんだから。」「何だ…この気持ち。」

## 想いの強さ

ずっと追いつけてきた。

大きくていつでもあたしの味方だった掌を…

ずっと忘れなかった。

親に怒られた時も友達と喧嘩した時もいつでも優しく撫でてくれた心地よい頭の重みを。

桜井雛、青春真っ盛りの高校二年生。3月3日生まれだから雛。安易に名前付けすぎ、お母さん。

「雛は名前の通り女の子らしい女の子だね。」

「まあ、そりゃ稚歌みたいに男らしかったら雛ちゃんじゃないって。」

「

あたしの前にいる美人さんは加村稚歌ちゃん。隣の男子は稚歌ちゃんの幼なじみ、美男子で有名な古坂尋くん。

稚歌ちゃんはあたしを女の子らしくて可愛い、と言う。でも、あたしは稚歌ちゃんみたいになりたい。言いたいこともやりたい夢もはつきり持つてる強くて優しいしっかり者に。

ふざけて男子には

「男女」

とか言われてるけど、稚歌ちゃんはちゃんと女の子なところはいつぱいあるし綺麗でモテること、皆知ってる。

「な…雛、雛。」

そんなことを考えていたあたしに掌をヒラヒラ振りながら稚歌ちゃん  
はあたしを呼んだ。

「ん…何？」

「明日暇？」

明日…。えっと、11月6日…だっけ？

「うわあっ…！」

突然叫んだあたしに稚歌ちゃんと古坂くんは驚いてこっちを見た。

「どうしたの雛？」

「ごめん、稚歌ちゃん。あたし大事な用事忘れてた。だからね、明日暇じゃなくて…。」

慌てて話すあたしの頭を撫でてくれる稚歌ちゃんに笑顔を向けながらあたしはあの人の事を考えていた。

変わっちゃったかな、覚えてるかなとか、あたしがわかるかな、とか。

明日会える、やっと会えるんだ。

「で…雛。」

「ん…何、稚歌ちゃん？」

振り返ったあたしに稚歌ちゃんはニヤニヤ笑いながら近づいて来た。

「え…えっ！何、稚歌ちゃん？ちよつと助けて古坂くん！！」

「ひく。な。大事な用事って？」

あたしは口をモゴモゴさせながら古坂くと稚歌ちゃんを交互に見ながら笑顔をひきつらせた。

「…でね、明日やつと四年ぶりの再会なんだ。だから…稚歌ちゃんごめんね。」

結局、吐かされてしまった。稚歌ちゃんのあの顔に古坂くんの誘導尋問には勝てないよ…。

「でもさ、やつぱ雛ちゃんて女の子って感じだよな。純情だし可愛いし。なんか今の話聞いて雛ちゃんって見た目通りだなって思った。だからモテるんだろうな。雛ちゃん目当ての男子多いんだし、気を付けろよ。」

珍しい古坂くんの言葉にあたしはビックリした。

「なんか古坂くんがそういう話するのって意外だな。恋愛とか興味ないって言ってたからそういう話も興味ないのかと思ってた。」

「そういう訳じゃないんだけど。恋愛に興味ないって言うより女に興味ない。や、でも可愛いとか綺麗とか俺だっと思わない訳じゃないけど。でもだからってそれで付き合いたいとか好きになるとか良く分かんないんだよな。」

ふつと苦笑をもらしながら古坂くんは稚歌ちゃんを優しい表情で見

つめている。

ふと稚歌ちゃんを見ると稚歌ちゃんも切れ長の綺麗な瞳で切なそうに古坂くんを見つめていた。

見つめ合う瞳のその先に見えるのはきつとお互いを想い合う優しい気持ち。

あたしには分からないけどきつと二人には分かってるんだ。二人の優しい表情を見て突然あたしも会いたくなった。明日会えるのは決まってるのに。

早くあたしの優しい大きな掌に、あの人に会いたい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1964d/>

---

Energetic song

2011年1月8日23時04分発行